

授業科目名	教育基礎論
科目番号	CB11081
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春BC 金5,6
担当教員	田中 マリア, 平井 悠介, 京免 徹雄
授業概要	「教育問題」を講義の入り口に据え、教育学がそれをどのように扱っているのかを講ずる。日常を学問的な視点から捉え直す機会を与える。
備考	教育学類学生は「学校の経営・制度・社会」と併せて受講すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 必修科目
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「1. 人間科学の理解力」、「2. 教育学の基礎的体系的知識」に関連する。
授業の到達目標(学修成果)	教育の理念・歴史・思想及び現代教育学が抱えるテーマを事例として学び、教育が現代社会にどのようにアプローチできるかを考えることができる。
授業計画	<p>授業は大きく三つの領域に分けられる。第一に、教育がどのような理念に支えられているのかを根源的に考える(担当:平井悠介)。第二に、教育の歴史及び思想がどのようにに成立・発展してきたのかを、特に学校教育に焦点を合わせて考える(担当:田中マリア)。第三に、現代社会において教育がどのような役割を担えるのか、日本の教育の文化史を通して、より実践的に考える(担当:京免徹雄)。</p> <p>第1回 教育を学問的に学ぶ意義 第2回 教育目的論の構造 第3回 子どものよりよき生と教育 第4回 教育の必要性和可能性 第5回 人間形成の根源と価値 第6回 教育思想の背景と系譜 第7回 近代教育思想と現代教育:ルソーの社会観、人間観、教育観(前半) 第8回 近代教育思想と現代教育:ルソーの社会観、人間観、教育観(後半) 第9回 近代教育思想に見る教授:ヘルバルト(前半) 第10回 近代教育思想に見る教授:ヘルバルト(後半) 第11回 近代学校教育システムの成立と発展(前半) 第12回 近代学校教育システムの成立と発展(後半) 第13回 学校文化の考現学:教育慣行史からみた学校教育 第14回 「学級」の成立過程:生活共同体としての学校 第15回 「制服」の成立史:統制・社会化システムとしての学校 第16回 「教室」の変遷:学習空間としての学校 第17回 「教科書」の歴史:文化伝達組織としての学校 第18回 「入試」の発展過程:選抜組織としての学校 第19回 学校とは何か:ワールド・カフェによる対話 第20回 本授業のまとめ:教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想(担当:平井悠介・田中マリア・京免徹雄)</p> <p>本授業はオンライン授業(オンデマンド型)により実施します。</p>
履修条件	
成績評価方法	・授業ごとの振り返りシート(40%)と定期試験(60%)に、授業への参加姿勢を加味して、

成績評価方法	<p>評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3分の2（14回）以上の出席を単位認定の条件とする。</li> <li>・各担当者による講義内容に関する問を含む試験の成績により、到達目標を十分満たしたと判断された場合、合格(A+, A, B, C)のいずれかの評価となる。</li> </ul>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業を通じて、講義(90%)、演習(10%)の内容となります。</li> <li>・各回、事前学習、事後学習を含め、150分の授業外における学修を要する。</li> </ul>
教材・参考文献・配付資料等	授業時に資料を含むレジュメを配布するため、教科書は指定しない。
オフィスアワー等（連絡先含む）	<p>2023年度は田中が授業運営の主を務める。全体に関わる問い合わせは田中に、授業の内容に関わる問い合わせは各担当に行ってください。</p> <p>田中 マリア mtanaka at human.tsukuba.ac.jp</p>
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	TAの配置を予定する。
キーワード	教育理念・目的, 教育可能性, 近代教育思想, 近代教育システム, 学校教育の歴史